

消化器内視鏡

ENDOSCOPIA DIGESTIVA

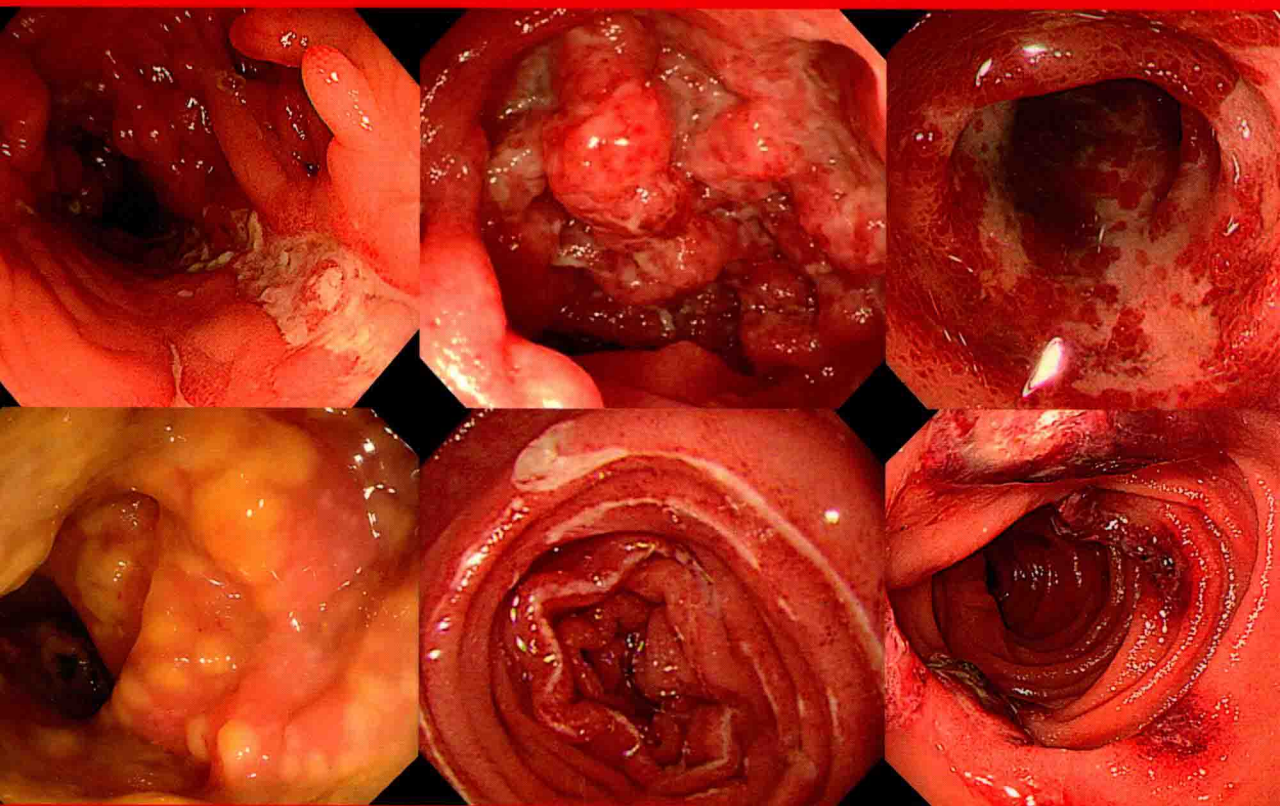
腸炎まるわかり

All about Enterocolitis

表紙に示した病変の診断名は？

本特集では、腸炎をきたす代表的疾患を取り上げ、臨床像のみならず、内視鏡所見の特徴について解説している。とくにIBDについては、indeterminate enterocolitisについても疾患概念も含め触れている。

本特集が、腸炎をきたす疾患の内視鏡診断において、これ一冊で大丈夫というバイブル的役割を果たすものと確信している。



必携 Buy Now!

胃疾患アトラス

Atlas of Gastric Disorders

<http://www.tokyo-igakusha.co.jp>

雑誌・書籍新刊オンライン販売サイト



東京医学社

消化器内視鏡

消化器内視鏡

8

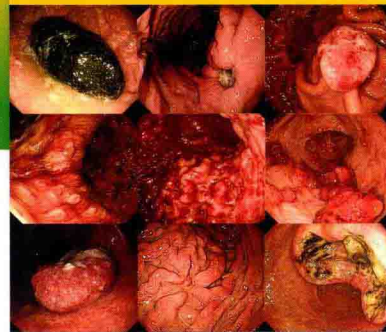
ENDOSCOPIA DIGESTIVA

増大号

胃疾患アトラス

Atlas of Gastric Disorders

胃疾患の典型例、バリエーション例、稀な疾患など、可能な限り多くの胃疾患を系統だて取り上げました。系統だてを取り上げ、日常診療に役立つ胃疾患アトラスを提供する。



2016 Vol.28 No.8 増大号

264 頁 定価 (本体 6,800 円 + 税)

胃疾患の典型例、バリエーション例、稀な疾患など、可能な限り多くの胃疾患を系統だて取り上げました。日常診療に必ず役立つ胃疾患アトラスです。

目次 CONTENTS

・序説 内視鏡切除術の歴史とあるべき姿

総論

・胃の組織解剖と内視鏡像

・胃の正常組織像と胃病変の組織診断の基本

各論

I. 隆起を呈する病変

隆起を呈する胃病変の鑑別診断のポイント

症例アトラス

・上皮性・非腫瘍性

過形成性ポリープ / 胃底腺ポリープ / 胃底腺ポリープ (FAP に伴うもの) / 胃炎炎症線維性ポリープ胃 Hamartomatous Inverted Polyp / 隆起性びらん / 胃黄色腫 / 腸上皮化生 / 多発性白色扁平隆起 (春間・川口病変)

・上皮性・腫瘍性

胃腺腫 (腸型腺腫) / 幽門腺腺腫 (胃型腺腫) / 胃壁内膿瘍 / 早期胃癌 (0-IIa, 0-I 分化型腺癌) / 早期胃癌 (0-I 型) / 胃底腺型胃癌 / 進行胃癌 (I 型) / 転移性胃癌 (潰瘍なく隆起を呈する病変)

・非上皮性

胃嚢胞 (単発例) / 胃粘膜下異所性腺管 / 胃迷入瘻 / 胃平滑筋腫 / 胃 GIST / 胃神経鞘腫 / 胃脂肪腫 / 胃カルチノイド (胃神経内分泌腫瘍) / Rindi type I / 胃カルチノイド (胃神経内分泌腫瘍) / Rindi type II (MEN1 に伴う病変) / 胃カルチノイド (胃神経内分泌腫瘍) / Rindi type III / 胃海面状血管腫 / 胃グロームス腫瘍 / 胃顆粒細胞腫 / 胃悪性リンパ腫 (DLBCL, 腫瘍形成型) / 胃 MALT リンパ腫 (隆起型) / 胃濾胞性リンパ腫 / 胃 Kaposi 肉腫 / 胃アミロイドーシス / 胃壁外圧迫 / 胃 Vanishing Tumor / 胃静脈瘤

II. 平坦な病変

平坦な病変の鑑別診断のポイント

症例アトラス

血管拡張症 (限局性, 日の丸紅斑, O-W-R 症候群) / 血管拡張症 (びまん性, GAVE, DAVE) / 早期胃癌 (0-IIb, 発赤した分化型腺癌) / 早期胃癌 (0-IIb, *H.pylori* 除菌後) / 早期胃癌 (0-IIb, 未分化型腺癌) / 胃 MALT リンパ腫 (*H.pylori* 陰性型) / 異形質細胞腫

III. 陥凹を呈する病変

陥凹を呈する胃病変の鑑別診断のポイント

症例アトラス

・上皮性・非腫瘍性

消化性胃潰瘍 (*H.pylori* による A1 から H2 stage) / NSAIDs 胃潰瘍 / 急性胃粘膜病変 / 胃梅毒 (胃梅毒に伴う AGML 様病変) / 胃サイトメガロウイルス感染症 / 胃結核 (胃結核による胃潰瘍病変例) / Crohn 病に伴う胃病変 / Cameron 潰瘍 / 胃アミロイドーシス / 胃限局性びらん / 胃憩室症 / Mallory-Weiss 症候群

・上皮性・腫瘍性

陥凹型胃腺腫 / 早期胃癌 (0-IIc 高分化型腺癌) / 早期胃癌 (0-IIc 未分化型腺癌) / 早期胃癌 (0-IIc EBV) / 神経内分泌腫瘍 (MANEC-SM 癌) / 胃底腺型胃癌 (平坦 / 陥凹型) / 進行胃癌 (2 型, 3 型典型例) / 粘膜下異所性胃腺上にできた胃癌 / 転移性胃癌 (血行性転移, 多発性潰瘍を呈する病変) / 転移性胃癌 (脾癌などの胃直接浸潤による病変)

・非上皮性・腫瘍性

胃 MALT リンパ腫 (限局陥凹型)

胃悪性リンパ腫 (DLBCL)

IV. びまん性病変

びまん性に変化をきたす病変の鑑別診断のポイント

症例アトラス

・炎症性・非腫瘍性

慢性胃炎 (*H.pylori* による典型的活動性胃炎) : びまん性発赤, 点状発赤, 巨大皺襞胃 / 慢性胃炎 (*H.pylori* 鳥肌胃炎) / 慢性胃炎 (*H.pylori* 除菌後の地図状発赤・多発 / 小発赤陥凹を呈する胃粘膜) / *H.heilmannii* による胃炎 / 慢性胃炎 (自己免疫性胃炎, 逆萎縮を呈する胃炎) / GVHD に伴う亀甲様模様を呈する胃炎 / 胃敷石状粘膜 / 門脈亢進症性胃炎 (PHG) / Collagenous Gastritis / 好酸球性胃腸炎 / Lymphomatoid Gastropathy / 胃気腫性胃炎 / メネトリエ病 / 胃サルコイドーシス / 潰瘍性大腸炎に伴う胃炎 / Cronkhite-Canada 症候群 / 胃限局性若年性ポリポーシス

・腫瘍性

進行胃癌 (4 型) / 乳癌胃転移 / 悪性リンパ腫 (DLBCL びまん浸潤型)

V. 残胃にみられる病変

食残胃炎 (残胃全体の炎症から B-II 残胃の吻合部炎症・腸上皮化生)

Stomal Polypoid Hypertrophic Gastritis (SPHG) / 早期残胃癌 (吻合部の早期癌) / 早期残胃癌 (縫合線上の早期癌) / 再建胃管早期胃癌 (再建胃管の早期癌)

VI. 特殊形態を呈する病変

胃石症 / 胃アニサキス症 / 胃内異物 / Double Pylorus

生活習慣に基づく成人病は
早期発見・早期治療が
必須である!!

成人病と生活習慣病

月刊
毎月15日発行

The Journal of Adult Diseases



高齢化社会を迎え、多様化する成人病診療の
指針として最新かつ不可欠な情報を提供!!

☆2017年 47巻 特集予定(特集は変更することがあります。)

1号(2017年1月) 高齢者 Common Disordersの外来診療

2号(2017年2月) 消化器疾患の腫瘍性疾患治療ガイドラインのポイント

3号(2017年3月) まるごと教えます。今話題の拡張性心不全

4号(2017年4月) 糖尿病—最近の話題

5号(2017年5月) 第51回日本成人病(生活習慣病)学会特集号

6号(2017年6月) 慢性腎臓病CKDの合併症対策(保存期および透析期)

2017年度 年間定期購読料
本体価格 **33,600円(税別)**

通常号 本体価格 2,800円 ×12冊

定期予約購読のココがお得!!

送料無料! 前金定期購読の方は送料弊社負担です。

完全定価! 前金定期購読の方には増ページなどで
急遽定価が変更になった場合でも差額
はご請求いたしません。

成人病と生活習慣病 バックナンバーのお問い合わせは…

東京医学社のホームページ

東京医学社

検索

<http://www.tokyo-igakusha.co.jp>

またはお電話、FAXにてカタログをご請求ください。

TEL: 03-3265-3551(代) FAX: 03-3265-2750



各誌の詳細な
目次立て

随時更新される
新刊情報



定期購読注文書

- 郵送により毎号迅速確実にお手元へ直送いたします。
- ご購入は最寄りの医学書取扱店か、弊社販売部まで。

東京医学社
販売部

FAX03-3265-2750

申し込み書店

ご住所

Tel

Fax

E-MAIL

フリガナ
お名前

カタログの同封を ☐希望する ☐希望しない



プロトンポンプ・インヒビター エソメプラゾールマグネシウム水和物カプセル

ネキシウム[®]カプセル 10mg 20mg

薬価基準収載

処方箋医薬品^{注)}

注) 注意—医師等の処方箋により使用すること

効能・効果、用法・用量、効能・効果に関連する使用上の注意、
禁忌を含む使用上の注意等については添付文書をご参照ください。



販売元(資料請求先)
第一三共株式会社
東京都中央区日本橋本町3-5-1

製造販売元(資料請求先)
アストラゼネカ株式会社
大阪市北区大深町3番1号
0120-189-115
(問い合わせセンター・メディカルインフォメーションセンター)

● 年頭所感	安田健治朗	6
--------	-------	---

特集

腸炎まるわかり

● 序説	岩男 泰	10
------	------	----

総論

● 腸炎の診断プロセス	清水誠治 ほか	12
● 内視鏡所見からみた腸炎の鑑別診断	樫田博史 ほか	20

各論

〔炎症性腸疾患 (IBD)〕

● 潰瘍性大腸炎	長沼 誠 ほか	31
● Crohn 病	西尾昭宏 ほか	36
● Indeterminate enterocolitis の診断と経過	八坂達尚 ほか	46
【コラム】 回腸囊炎	黒川友博 ほか	53

〔炎症性腸疾患 (IBD 以外)〕

● 腸管 Behçet 病と単純性潰瘍	平岡佐規子 ほか	55
● 非特異性多発性小腸潰瘍症	小林清典 ほか	60

〔感染性腸炎〕

● カンピロバクター腸炎, サルモネラ腸炎	辻川知之 ほか	65
● 腸管出血性大腸菌腸炎	佐田美和 ほか	71
● エルシニア腸炎, チフス性疾患, クラミジア直腸炎	大川清孝 ほか	75
● 腸結核—内視鏡を中心に	大井秀久 ほか	80
● アメーバ大腸炎	鹿野島健二 ほか	86
● サイトメガロウイルス腸炎	小柏 剛 ほか	90
【コラム】 腸管スピロヘータ症	竹澤敬人 ほか	94

〔血流障害〕

● 虚血性大腸炎の特徴—内視鏡像を中心に	宮崎亮佑 ほか	97
● 虚血性小腸炎	坂本博次 ほか	103
● 特発性腸間膜静脈硬化症	横山 薫 ほか	108
● 放射線性腸炎の内視鏡診断	千野晶子 ほか	112
● 直腸粘膜脱症候群, 宿便潰瘍, 急性出血性直腸潰瘍	長坂光夫	118

〔薬剤起因性〕

- 抗生物質起因性腸炎 河村卓二 ほか 123
- NSAIDs 起因性腸病変 白井孝之 ほか 129
- Collagenous colitis 松橋信行 ほか 134

〔全身疾患に合併〕

- アミロイドーシス 蔵原晃一 ほか 140
- 膠原病に伴う腸病変 内山和彦 ほか 145
- 血管炎症候群 江崎幹宏 ほか 150

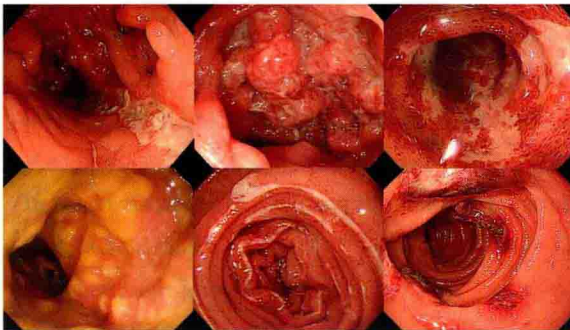
- 【コラム】セリアック病 中澤英之 ほか 155

〔ケース・スタディ〕

- 鑑別を間違えてはならない腸炎 大塚和朗 ほか 158
- 経過中に小腸癌 3 病変と直腸肛門部癌 1 病変を発症した Crohn 病の 1 例 渡辺憲治 ほか 162
- 大腸に多発潰瘍を認め診断に苦慮したサイトメガロウイルス腸炎の 1 例 大川清孝 ほか 166
- サイトメガロウイルス感染を合併した高齢発症潰瘍性大腸炎の 1 例 竹内 健 ほか 170

■ 次号予告・バックナンバー ... 174 ■ 投稿規定 ... 175 ■ 編集後記 ... 176

今月の表紙



a	b	c
d	e	f

梶田博史
a, b. 21 頁
c. 22 頁
d, e. 23 頁
f. 24 頁

□ 関連学会・研究会開催案内

- | | |
|------------------------------------|-----|
| 第 71 回 日本食道学会学術集会 | 30 |
| 第 11 回 広島消化管内視鏡ライブセミナー | 45 |
| 第 10 回 北里 EUS トレーニングコース | 127 |
| 第 2 回 東京国際内視鏡ライブ (Tokyo Live 2017) | 133 |

□ AD INDEX

- | | |
|------------------------------------|------|
| アストラゼネカ(株) ネキシウムカプセル | 表紙 3 |
| オリンパス(株) EVIS LUCERA ELITE ピデオスコープ | 表紙 4 |
| カイゲンファーマ(株) クリーントップ KD-1 | 1 |
| (株) トップ モールキャップ/トップオーバーチューブ | 8 |
| 中山書店 書籍: プリンシプル 消化器疾患の臨床 | 128 |
| 富士フイルムメディカル(株) LASEREO | 102 |
| 堀井薬品工業(株) エニマクリン/マグコロール P | 64 |

ENDOSCOPIA DIGESTIVA

Volume 29, Number 1, January 2017

CONTENTS

New year's message	Kenjiro Yasuda	6
Special Issue All about Enterocolitis		
Introductory remarks	Yasushi Iwao	10
Diagnostic process of enterocolitis	Seiji Shimizu et al.	12
Endoscopic differential diagnosis of enterocolitis	Hiroshi Kashida et al.	20
Ulcerative colitis	Makoto Naganuma et al.	31
Crohn's disease	Akihiro Nishio et al.	36
Diagnosis and clinical course of indeterminate enterocolitis	Tatsuhisa Yasaka et al.	46
《Column》Pouchitis	Tomohiro Kurokawa and Masaru Shinozaki	53
Behçet's disease and simple ulcer	Sakiko Hiraoka et al.	55
Chronic enteropathy associated with <i>SLCO2A1</i> (CEAS)	Kiyonori Kobayashi et al.	60
Infectious enterocolitis by <i>Campylobacter</i> and <i>Salmonella</i> species	Tomoyuki Tsujikawa and Shigeki Bamba	65
Enterohemorrhagic <i>Escherichia coli</i> enterocolitis	Miwa Sada et al.	71
<i>Yersinia</i> enterocolitis, typhoid and paratyphoid fever, <i>Chlamydia trachomatis</i> proctitis	Kiyotaka Okawa et al.	75
Intestinal tuberculosis: Endoscopic findings for diagnosis	Hidehisa Ohi et al.	80
Amoebic colitis	Kenji Kanoshima et al.	86
Cytomegalovirus enteritis	Tsuyoshi Ogashiwa et al.	90
《Column》Intestinal spirochetosis	Takahito Takezawa et al.	94
The characteristics of ischemic colitis: Focussing on the endoscopic findings	Ryosuke Miyazaki and Masayuki Saruta	97
Impeded blood flow in ischemic enteritis	Hirotsugu Sakamoto et al.	103
Idiopathic mesenteric phlebosclerosis	Kaoru Yokoyama and Kiyonori Kobayashi	108
Endoscopic findings of radiation-induced colitis	Akiko Chino et al.	112

Mucosal prolapsed syndrome of the rectum, stercoral ulcer, acute hemorrhagic rectal ulcer	<i>Mitsuo Nagasaka</i>	118
Enterocolitis implicated in antibiotic use	<i>Takuji Kawamura et al.</i>	123
Non-steroidal anti-inflammatory drugs-associated enteric injury	<i>Takayuki Shirai et al.</i>	129
Collagenous colitis	<i>Nobuyuki Matsuhashi et al.</i>	134
Endoscopic features of intestinal amyloidosis	<i>Koichi Kurahara et al.</i>	140
Intestinal disorders combined with collagen disease	<i>Kazuhiko Uchiyama and Yuji Naito</i>	145
Vasculitis syndrome	<i>Motohiro Esaki et al.</i>	150
《Column》Celiac disease	<i>Hideyuki Nakazawa et al.</i>	155
《Case Study》		
Bowel inflammation and differential diagnosis	<i>Kazuo Ohtsuka et al.</i>	158
A case report for Crohn's disease studies: 3 lesions of small bowel cancer and 1 of anorectal cancer complicated Crohn's disease in patients during the course of disease	<i>Kenji Watanabe et al.</i>	162
A case with multiple colonic ulcers of unknown cause	<i>Kiyotaka Okawa et al.</i>	166
A patient with elderly-onset ulcerative colitis concomitant with cytomegalovirus reactivation	<i>Ken Takeuchi and Yasuo Suzuki</i>	170

TOKYO IGAKUSHA Ltd. 35-4 Hongo 3-chome, Bunkyo-ku, Tokyo 113-0033 Japan

消化管内視鏡消毒装置〈強酸性電解水〉

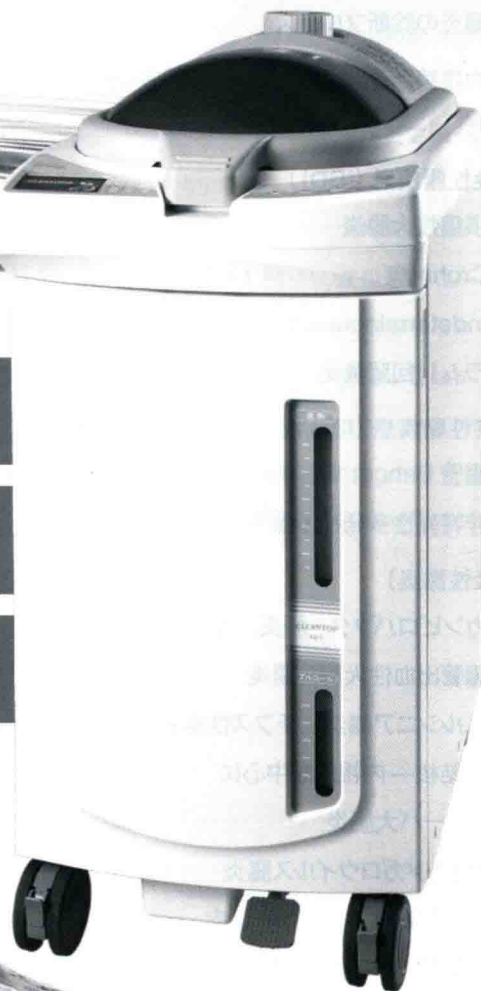
CLEANTOP

KD-1

全工程15分で完了
(アルカリ洗浄～消毒～水洗)

結核菌、ウイルスを始め
広範囲の微生物に有効

有効塩素濃度を含む3物性の
モニター機能搭載



販売名:クリーントップ KD-1
承認番号: 22700BZX00388000

〈製造販売元〉

KAIGEN カイゲンファーマ株式会社

大阪市中央区道修町二丁目5番14号(資料請求先 商品企画部)

<http://www.kaigen-pharma.co.jp>

● 年頭所感	安田健治朗	6
--------	-------	---

特集

腸炎まるわかり

● 序説	岩男 泰	10
------	------	----

総論

● 腸炎の診断プロセス	清水誠治 ほか	12
● 内視鏡所見からみた腸炎の鑑別診断	樫田博史 ほか	20

各論

〔炎症性腸疾患 (IBD)〕

● 潰瘍性大腸炎	長沼 誠 ほか	31
● Crohn 病	西尾昭宏 ほか	36
● Indeterminate enterocolitis の診断と経過	八坂達尚 ほか	46
【コラム】 回腸囊炎	黒川友博 ほか	53

〔炎症性腸疾患 (IBD 以外)〕

● 腸管 Behçet 病と単純性潰瘍	平岡佐規子 ほか	55
● 非特異性多発性小腸潰瘍症	小林清典 ほか	60

〔感染性腸炎〕

● カンピロバクター腸炎, サルモネラ腸炎	辻川知之 ほか	65
● 腸管出血性大腸菌腸炎	佐田美和 ほか	71
● エルシニア腸炎, チフス性疾患, クラミジア直腸炎	大川清孝 ほか	75
● 腸結核—内視鏡を中心に	大井秀久 ほか	80
● アメーバ大腸炎	鹿野島健二 ほか	86
● サイトメガロウイルス腸炎	小柏 剛 ほか	90
【コラム】 腸管スピロヘータ症	竹澤敬人 ほか	94

〔血流障害〕

● 虚血性大腸炎の特徴—内視鏡像を中心に	宮崎亮佑 ほか	97
● 虚血性小腸炎	坂本博次 ほか	103
● 特発性腸間膜静脈硬化症	横山 薫 ほか	108
● 放射線性腸炎の内視鏡診断	千野晶子 ほか	112
● 直腸粘膜脱症候群, 宿便潰瘍, 急性出血性直腸潰瘍	長坂光夫	118

〔薬剤起因性〕

- 抗生物質起因性腸炎 河村卓二 ほか 123
- NSAIDs 起因性腸病変 白井孝之 ほか 129
- Collagenous colitis 松橋信行 ほか 134

〔全身疾患に合併〕

- アミロイドーシス 蔵原晃一 ほか 140
- 膠原病に伴う腸病変 内山和彦 ほか 145
- 血管炎症候群 江崎幹宏 ほか 150

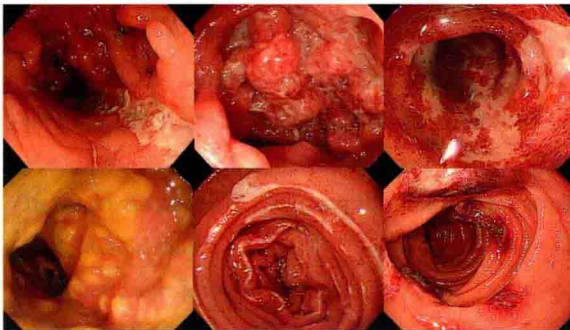
- 【コラム】セリアック病 中澤英之 ほか 155

〔ケース・スタディ〕

- 鑑別を間違えてはならない腸炎 大塚和朗 ほか 158
- 経過中に小腸癌 3 病変と直腸肛門部癌 1 病変を発症した Crohn 病の 1 例 渡辺憲治 ほか 162
- 大腸に多発潰瘍を認め診断に苦慮したサイトメガロウイルス腸炎の 1 例 大川清孝 ほか 166
- サイトメガロウイルス感染を合併した高齢発症潰瘍性大腸炎の 1 例 竹内 健 ほか 170

■ 次号予告・バックナンバー ... 174 ■ 投稿規定 ... 175 ■ 編集後記 ... 176

今月の表紙



a	b	c
d	e	f

榎田博史

a, b. 21 頁
c. 22 頁
d, e. 23 頁
f. 24 頁

□ 関連学会・研究会開催案内

- | | |
|------------------------------------|-----|
| 第 71 回 日本食道学会学術集会 | 30 |
| 第 11 回 広島消化管内視鏡ライブセミナー | 45 |
| 第 10 回 北里 EUS トレーニングコース | 127 |
| 第 2 回 東京国際内視鏡ライブ (Tokyo Live 2017) | 133 |

□ AD INDEX

- | | |
|------------------------------------|------|
| アストラゼネカ(株) ネキシウムカプセル | 表紙 3 |
| オリンパス(株) EVIS LUCERA ELITE ピデオスコープ | 表紙 4 |
| カイゲンファーマ(株) クリーントップ KD-1 | 1 |
| (株) トップ モールキャップ/トップオーバーチューブ | 8 |
| 中山書店 書籍: プリンシプル 消化器疾患の臨床 | 128 |
| 富士フイルムメディカル(株) LASEREO | 102 |
| 堀井薬品工業(株) エニマクリン/マグコロール P | 64 |

ENDOSCOPIA DIGESTIVA

Volume 29, Number 1, January 2017

CONTENTS

New year's message	Kenjiro Yasuda	6
Special Issue All about Enterocolitis		
Introductory remarks	Yasushi Iwao	10
Diagnostic process of enterocolitis	Seiji Shimizu et al.	12
Endoscopic differential diagnosis of enterocolitis	Hiroshi Kashida et al.	20
Ulcerative colitis	Makoto Naganuma et al.	31
Crohn's disease	Akihiro Nishio et al.	36
Diagnosis and clinical course of indeterminate enterocolitis	Tatsuhisa Yasaka et al.	46
《Column》Pouchitis	Tomohiro Kurokawa and Masaru Shinozaki	53
Behçet's disease and simple ulcer	Sakiko Hiraoka et al.	55
Chronic enteropathy associated with <i>SLCO2A1</i> (CEAS)	Kiyonori Kobayashi et al.	60
Infectious enterocolitis by <i>Campylobacter</i> and <i>Salmonella</i> species	Tomoyuki Tsujikawa and Shigeki Bamba	65
Enterohemorrhagic <i>Escherichia coli</i> enterocolitis	Miwa Sada et al.	71
<i>Yersinia</i> enterocolitis, typhoid and paratyphoid fever, <i>Chlamydia trachomatis</i> proctitis	Kiyotaka Okawa et al.	75
Intestinal tuberculosis: Endoscopic findings for diagnosis	Hidehisa Ohi et al.	80
Amoebic colitis	Kenji Kanoshima et al.	86
Cytomegalovirus enteritis	Tsuyoshi Ogashiwa et al.	90
《Column》Intestinal spirochetosis	Takahito Takezawa et al.	94
The characteristics of ischemic colitis: Focussing on the endoscopic findings	Ryosuke Miyazaki and Masayuki Saruta	97
Impeded blood flow in ischemic enteritis	Hirotsugu Sakamoto et al.	103
Idiopathic mesenteric phlebosclerosis	Kaoru Yokoyama and Kiyonori Kobayashi	108
Endoscopic findings of radiation-induced colitis	Akiko Chino et al.	112

Mucosal prolapsed syndrome of the rectum, stercoral ulcer, acute hemorrhagic rectal ulcer	<i>Mitsuo Nagasaka</i>	118
Enterocolitis implicated in antibiotic use	<i>Takuji Kawamura et al.</i>	123
Non-steroidal anti-inflammatory drugs-associated enteric injury	<i>Takayuki Shirai et al.</i>	129
Collagenous colitis	<i>Nobuyuki Matsuhashi et al.</i>	134
Endoscopic features of intestinal amyloidosis	<i>Koichi Kurahara et al.</i>	140
Intestinal disorders combined with collagen disease	<i>Kazuhiko Uchiyama and Yuji Naito</i>	145
Vasculitis syndrome	<i>Motohiro Esaki et al.</i>	150
《Column》Celiac disease	<i>Hideyuki Nakazawa et al.</i>	155
《Case Study》		
Bowel inflammation and differential diagnosis	<i>Kazuo Ohtsuka et al.</i>	158
A case report for Crohn's disease studies: 3 lesions of small bowel cancer and 1 of anorectal cancer complicated Crohn's disease in patients during the course of disease	<i>Kenji Watanabe et al.</i>	162
A case with multiple colonic ulcers of unknown cause	<i>Kiyotaka Okawa et al.</i>	166
A patient with elderly-onset ulcerative colitis concomitant with cytomegalovirus reactivation	<i>Ken Takeuchi and Yasuo Suzuki</i>	170

TOKYO IGAKUSHA Ltd. 35-4 Hongo 3-chome, Bunkyo-ku, Tokyo 113-0033 Japan

2017 年を迎えて

安田健治郎 Kenjiro YASUDA

京都第二赤十字病院消化器内科

「消化器内視鏡」読者の皆さま、あけましておめでとうございます。

いつもと同じ朝を迎えているのに、元旦の朝を特別な気持ちで迎えるのは歳をとったためだけでもなさそうです。そう言えば、以前から元旦の朝は何かしらいつもと違う朝であったように思い出されます。まさか、今週中にこの年頭所感を完成させなければならないというプレッシャーのためではないと思いますが…。

2016 年は、オバマ大統領の広島訪問や安倍首相の真珠湾訪問など平和と寛容に向けた行動の一方で、シリアの内乱や中東の混乱、そして EU 諸国でのテロや移民問題が解決されないまま、厳しい現実が 2017 年に引き継がれようとしています。新年を迎え、すべてリセットといかないのが現実です。

また、想定外の出来事もいろいろ起こりました。4 月には震度 7 を観測した熊本地震、6 月には EUS 離脱を問うイギリスの国民投票で離脱派勝利、8 月には東北、北海道への台風の直接上陸、10 月には阿蘇山の噴火、11 月には次期アメリカ大統領選挙でのドナルド・トランプ氏の勝利などが思い起こされます。その影響は昨年に終わらず、今年に尾を引くものや、これから始まる出来事も含まれています。

一方、心躍る出来事としては、8 月のリオデジャネイロ・オリンピックでの日本勢の活躍、ゴルフの松山英樹選手やテニスの錦織圭選手の活躍がありました。個人的には男子 400 m リレーの銀メダルに非常に興奮したことを思い出します。また、10 月には大隅良典先生のノーベル生理学・医学賞の受賞という明るいニュースを聞くことができました。「なんだ、それは？」と思ったと言うと、歳をとったと笑われそうですが、社会現象にもなった「ポケモン GO」も昨年の話題のひとつでした。

高齢化や医療技術の進歩によって国民医療費は過去最高を更新し続け、国民負担も大きなものとなっています。医療機関にとっても、消費税増税や診療報酬の改定と相まって、その経営は必ずしも順調とはいえない状況が続いています。このような状況下ではありましたが、「消化器内視鏡」は 1 年を通して、最近話題のトピックスから基本手技や先進的手技、さらに新技術まで、消化器内視鏡診療にフォーカスした特集号を発刊し、読者の皆さまのお役に立ったものと確信しています。ただ、号によって若干の遅れがでましたことをこの場を借りてお詫び申し上げます。

NEW YEAR'S MESSAGE



さて、2017年はどうなるのでしょうか。今年の干支は「丁酉（ひのととり）」で、十干である「丁」と十二支である「酉」を併せた年になります。「酉」は酒つばを模したもので、酒に関する字に使われ、果実が極限まで熟した状態を示しているとされています。十二支が動物に当てはめられ、トリがニワトリであることから、朝一番に時を告げるため縁起がよいとされたり、トリ込むとして運氣や客を取り込み商売繁盛を意味するなどと言われていました。また、「丁」は成長を意味し、「酉」は果実が熟して酒となり利益を得るなどともされています。2017年の「丁酉」は安定した成長で利益を得るなどと気持ちよくまとめることもできますが、さて現実はどうでしょうか？

消化器内視鏡診療は領域を問わず、今年もますます新しい枝葉を伸ばして、患者さんの役に立つことに疑いの余地はありません。ただ、消化器内視鏡診療に限らず、どんな手技でも誰もが自由にできる時代ではなくなってきていることも事実です。ガイドラインに沿った診療が求められ、説明と同意の取得は勿論のこと、あらゆるリスクをマネジメントしながら診療にあたるのが前提となっています。2015年10月に発足した医療事故調査制度や、2016年11月に通達のあった高難度新規医療技術の導入にあたって、基本的な考え方を守りながら診療を行うことが提起されています。これまでも増して、組織や個人の情報収集や研鑽が求められる時代となっています。知識の習得のみならず、安全確実な手技のためのトレーニングや、機器の選択、正しい取扱いから緊急時の対応など、きめ細かな教育やトレーニングなくして、今日の消化器内視鏡診療はないとさえ言えます。

消化器内視鏡診療は高度化・複雑化しながら日々進歩しています。本誌の目的は、知識をいつでも使える引き出しに整理すること、基本を大切にしながら応用に進むこと、内視鏡を通して疾患を俯瞰する目を養うこと、新たな技術を積極的に取り入れることを通して安心・安全・確実な内視鏡診療を目指すこと、そのための教育・トレーニングシステムを考えることに集約できるのではないかと思います。

本誌の取り組みが皆さまの内視鏡診療に寄与し、患者さんの健康・幸福に繋がれば望外の喜びです。さらに、消化器内視鏡診療が今日の医療のなかで低侵襲な診断・治療法としてますます評価され、期待されることを願って年頭所感とさせていただきます。

今年が皆さまにとってより佳い年であらんことを！

内視鏡用装着フード

モールキャップ

Spherical tip(球面先端)による
内視鏡の「挿入性向上」と
ESDにおける「粘膜下層への潜り込み」

特長

■ 送水機能搭載タイプ

送水チューブ付きは、視野中央方向へ送水が可能、止血処置をサポートします。

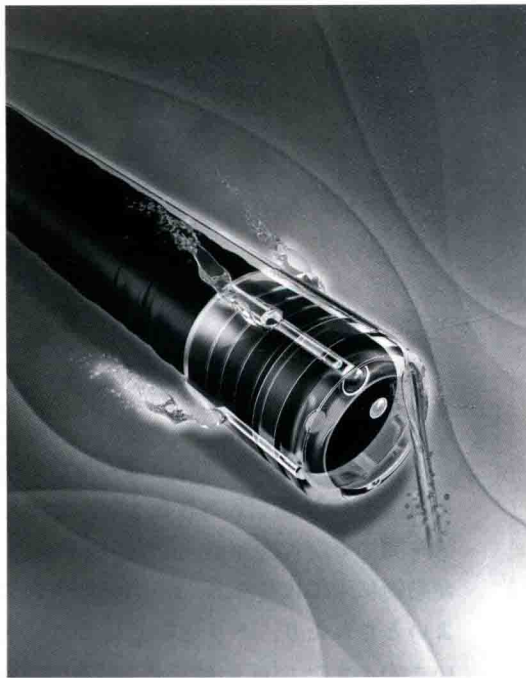
●取り付け方向によって、任意の方向からの送水が可能です。

■ スムーズな排水を促すスリット&ホール機能

排水機能により、視野の妨げとなる液体を速やかに自然排出します。

■ 豊富なラインナップ

ご使用の内視鏡と用途に合わせて選べる9品種を揃えています。



医療機器届出番号13B1X00085000091



TOP PRODUCT LINE UP

—— 製品のご紹介 ——



医療機器認証番号 219AABZX00244000

トップ オーバーチューブ

多様な検査・処置をサポート
全7タイプのダブルオーバーチューブ

特長

- よりソフトな材質の内筒・外筒チューブにより、食道粘膜への負担および損傷リスクを軽減します。
- バイトブロックにはソフトなシリコンベルトが装着されており、噛み込み易く、安定感があります。
- トップ固定ベルト同梱により、セットアップの手間を省きます。



製品の規格等は、お近くの支店・営業所までお問い合わせください。

製造販売業者

株式会社 トップ

本社:〒120-0035
東京都足立区千住中居町19番10号

東京支店 tel:03-3811-9915

札幌営業所 tel:011-820-8383

千葉営業所 tel:043-214-1641

静岡営業所 tel:054-263-0824

広島営業所 tel:082-246-7651

名古屋支店 tel:052-834-3333

盛岡営業所 tel:019-645-3452

横浜営業所 tel:045-260-5271

京都営業所 tel:075-643-6351

鹿児島営業所 tel:099-265-4566

大阪支店 tel:06-6361-5831

仙台営業所 tel:022-265-3610

金沢営業所 tel:076-268-3370

神戸営業所 tel:078-341-1683

福岡支店 tel:092-472-4233

北関東営業所 tel:048-685-5797

新潟営業所 tel:025-244-2191

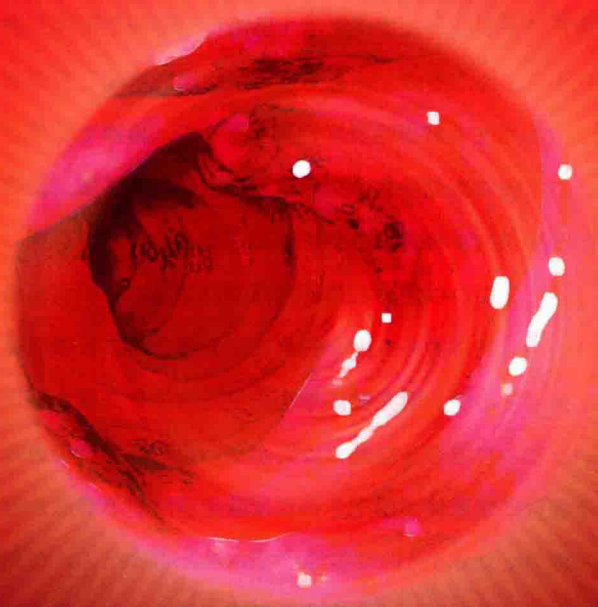
高松営業所 tel:087-866-5691

消化器内視鏡

ENDOSCOPIA DIGESTIVA

腸炎まるわかり

All about Enterocolitis



2017 Vol.29 No.1